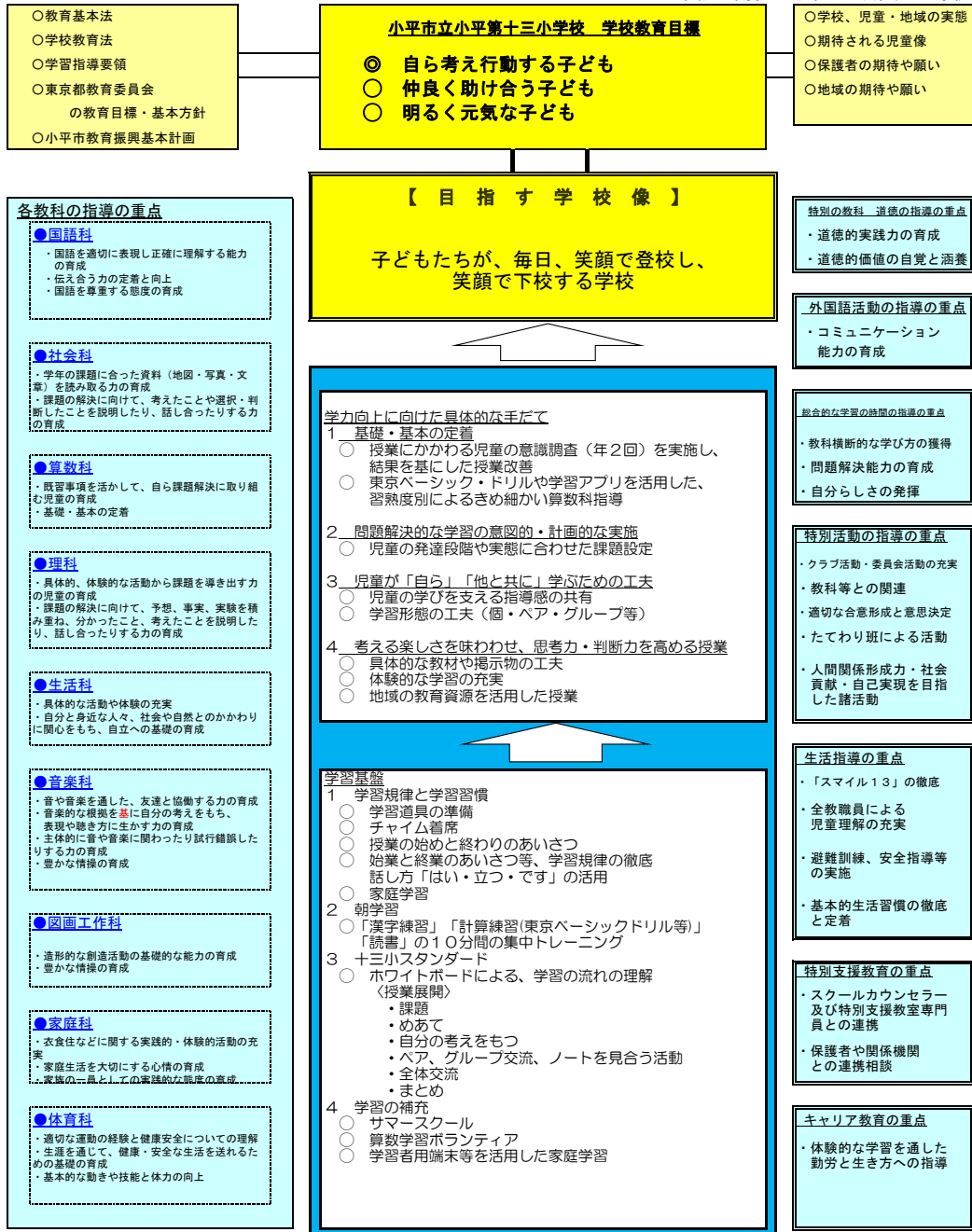


授業改善推進プラン 全体計画

令和7年度 小平市立小平第十三小学校



【授業改善に向けた校内体制】		
指導体制の改善		学習基盤の充実
1 学級担任に、学習補助員を加えた、複数のスタッフによる指導システム（1～3年生）	4 学年会の確立 ⇒会議の精選・効率化	1 基本的生活習慣・家庭学習の定着 ⇒「早起き早寝朝ごはん」の生活リズム
2 授業改善推進プランの作成と授業改善 ⇒研究授業、研究協議会の実施を通して	5 放課後や夏休みの個別指導の確保 ⇒週時間の工夫・補習教室等の確実な実施	2 保護者への啓発 ⇒学校・学年・保健等の各お便りのクラスルームを活用した配信 ⇒ホームページによる情報発信
3 学力向上（習熟度）委員会の設置 ⇒教務主任・算数担当・実施学年主任で構成し、習熟度別算数指導の方法について協議する。	6 学習支援ボランティアの活用 ⇒ボランティアの運営組織	3 東京ベーシック・ドリル診断シートの活用
	7 算数学習ボランティアの登用	4 学習者用端末を活用した家庭学習や補習
	8 エデュケーションスタッフの活用	
各学年の重点とする取組		
1年	国語科 算数科	◎話を示し、事柄の順序を考えて話をさせる。 ◎問題を読み取ったことをブロックで操作したり、図で表現したりしてから立式する。
2年	国語科 算数科	◎スキルとデジタルドリルを活用し、授業、朝学習、家庭学習で毎日カタカナや漢字の練習をさせる。作文などの添削を丁寧に行う。 ◎授業の初めや、単元のまとめの時間に、計算スキルやデジタルドリルで繰り返し練習させ、基礎的なたし算・ひき算の計算の習熟、かけ算九九の暗唱ができるようにする。
3年	国語科 算数科	◎漢字や言葉の習得のため、ミニテストを使った反復練習を行う。デジタルドリルの活用を通し、既習漢字や言葉の学習を繰り返し復習させることで定着を図る。 ◎計算の意味や仕方を、言葉や数、式、図、数直線等を用いて説明させる。多様な考え方をグループや全体で共有することで、考えの幅を広げるとともに、相手に伝える力を育む。
4年	国語科 算数科	◎文章や発表の基本の型を示し、自分の考えの根拠となる部分を具体的に示す。 ◎既習事項を基にした自己解決の時間、ペアやグループで考えたことの発表や交流・検討の時間を十分に設定し、多様な考えにふれられるようにする。
5年	算数科 社会科	◎習熟度別コースの実態に応じて、全体で考える時間をとり、課題解決の見通しをもたせる。 ◎学習問題を明確にした上で調べ学習を行い、分かったことを自分の言葉でまとめさせる。
6年	社会科 算数科	◎複数の資料を比較し、共通点や相違点を明らかにする活動に取り組む。読み取ったことを白地図や年表、図表などにまとめる。 ◎既習事項を活用して課題解決に臨ませる。自力解決→全体共有という流れを基本とする。